



# スクールレポート

SCHOOL REPORT 25

学校生活の一コマ  
を紹介

今回は、学校生活の中から、相撲による体力づくりや地域に伝わる踊りを通してふるさと教育、「魅力ある学校づくり事業」で整備した自然のさとをご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

## 大草小学校「大草場所」

本気のぶつかりあい はっけよいのこった！

大草小学校には、市内唯一の土俵があり、年3回、同小学校児童による『大草場所』を開催します。第1回は「健康相撲体操」から始まり、全校児童が紅白に分かれた縦割り班対抗の相撲を行います。第2回は、現役力士を招いての「ふれあい相撲」です。大きなお相撲さんを前に、臆することなく挑む子どもたちには驚かされます。第3回は、運動会での全校男子児童による紅白戦です。今までの練習の成果が表れる結びの一番で、観客も応援に力が入ります。相撲を通して、子どもたちに体力づくりだけでなく、日本の文化や伝統も学んで欲しいと願っています。



▲昨年の運動会の紅白相撲

## 泉小学校「泉音頭」

みんなで踊ろう！ みんなでつながろう！



▲みんなで輪になって踊る様子

泉小学校では、地域への愛着とふるさと泉を誇りに思う心をはぐくむため「ふるさと教育推進事業」に取り組んでいます。泉地区に昔から伝わる泉音頭は、以前は盆踊りで盛んに踊られていたそうですが、今では踊る機会も少なくなってきました。昨年9月の保・小・中合同運動会で、みんなで踊ろうと取り入れたところ、「懐かしかった」「うれしかった」「来年も一緒に踊りたい」などの声が寄せられました。9月18日(土)に開催する合同運動会では、もっともっと大きな踊りの輪が広がるようにしたいと思っています。

## 六連小学校「自然のさと」

「魅力ある学校づくり事業」自然とふれ合おう

六連小学校では、子どもたちが生き生きと楽しく活動できる場所として、運動場の南側に池や小川を整備したり、畑を作ったりしました。池の水面を覆っていたハスを取り除くと、ゆうゆうと泳ぐコイやフナ、底を歩くザリガニの姿も見られるようになりました。小川にも小さな生き物がいっぱいいます。放課になると、子どもたちが池や小川の周りに集まり、「ザリガニだ」「ヤゴもいるよ」などと目を輝かせ、楽しそうに話す大きな声が聞こえてきます。身近な自然にふれる機会が増え、子どもたちは生き物の成長を通して季節の変化を感じ、自然の大切さを学んでいます。



●自然のさとで生き物を観察する子どもたち